

生活保護

受給者の3割、食事2回以下

## 福岡県民医連が調査

福岡県民主医療機関連合会は5日、県庁で記者会見し、生活保護受給者の生活実態調査結果を発表しました。食事1日2回以下32%、入浴週2回以下39%、冠婚葬祭に出席せず42%など、生活を切り詰め、孤立する生活保護受給者の姿が浮き彫りになりました。

調査は福岡、佐賀両県内の21病院・診療所を通じ、生活保護を受

給している患者59人に聞き取りで実施。「食品がなくなるまで買わない」「入浴は体をふ

くだけで水もできるだけ替えない」などの実態が紹介されました。また回答者からは「これまで以上どこを切り詰めたらいいかかわらない」と訴えられた声が寄せられています。

生活保護を申請するきっかけは、9割以上が病気や家族の死亡に

よるものであることが明らかになりました。

和田峯暢浩事務局長は「安倍内閣が進める生活保護給付水準の引き下げなどとてもない。申請手続きさえ拒む法改悪が強行されれば、餓死や孤立死が増える」と危機感を語りました。

会見に先立ち、民医連の代表は、生活保護法改悪案の廃案、生活保護基準の引き下げ中止などを求めるよう県に要望しました。